

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
商品知識 Goods Knowledge		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド科目				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
ファッションフィールド科目				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
阿部芳子	福祉棟3F	授業内に指示する		授業中に指示します
授業の概要				
商品の素材・品質・取扱い・流通などの多種多様な側面を理解しておくことは、今日重要である。消費者・生活者・販売員としてトラブルに巻き込まれない健全な生活の知識を持つことを目指す。				
授業の目標				
①素材の品質管理、品質管理活動、物流管理などを学ぶことができる。②消費者・生活者・販売員として消費社会の多様なトラブルを未然に防ぐ知識を持つことができるようになる。③学外授業（イオン研修）にて、実際に学ぶことも計画している。				
授業の方法				
実物資料で素材・品質・取扱いなどの理解を深める。今日の問題事例やクレーム処理の実例を紹介しながら進める。毎回異なるテーマの提出物をまとめることで、知識の向上を高める。				
学習の成果（学習成果）				
適切な商品知識を持ち、素材選びや品質管理ができるようになる。ファッション販売業務のクレームなどの相談にのることができるようになる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション、生活用品の材質、加工法、品質の違い、素材のいろいろ ①			
第2回目	衣料素材の理解： ② 素材の選別、表示、天然素材			
第3回目	衣料素材の理解： ③ 素材の鑑別、表示、化学繊維			
第4回目	衣料・生活用品の素材理解： 各種加工、改質加工、付加加工、表示、ラベル、タグ表示			
第5回目	ファッション素材の理解① 品質と機能、糸の撚り、織り・編み			
第6回目	ファッション素材の理解② 不織布の素材、異素材構成 (小テスト)			

第7回目	衣料品の理解： デザイン、 構成法、 裏・表・加工、 写真と現物の違い
第8回目	雑貨・生活用品の品質と取扱い、加工、保管、品質表示、価格との関係、 企業の対応（イオン研修）調整中
第9回目	消費者保護、行動情報、保障とクレーム
第10回目	消費生活と消費者教育、商品テスト
第11回目	消費生活と環境問題・リサイクル問題
第12回目	洗濯・クリーニングのマークと取扱い、クリーニング事故例 （小テスト）
第13回目	最近の問題事例から地域の「消費者センター」について （発表）
第14回目	インターネットの落とし穴、契約トラブル
第15回目	ライフプランの知識、ITの問題、まとめ

成績評価の方法と基準

評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	30%	実習を交えた授業に、まじめに取り組み、教員の設問にきちんと理解し、自らの考えをまとめることができたかなどを評価する。
レポート	30%	課題に対し、適切に考察、検証しまとめているか（S評価基準）。期限内に提出されたかを評価する。
調査報告書		
小テスト	20%	授業 1～12回で、内容が理解できているか、小テストで評価する。（6回、13回）
試験		
発表内容（態度含む）	20%	テーマに沿って、わかりやすく発表されていたか。内容に自分の意見等が組み込まれていたかなどを評価する。
その他		

教科書と参考図書

アパレル素材論（文化出版局）	2016 生活ハンドブック（第1学習社）	プリント配布
----------------	----------------------	--------

履修上の留意点・ルール

日頃から、商品の素材や品質、ラベル表示に関心を持ち収集しておくこと。新聞等の記事に関心を持つことを望む。毎回異なる内容の提出物期限に注意。学外授業（現場研修：イオン）の日程は調整中。